

C3「リスク低減設計方法」講習会

(リスク低減のための具体的な設計方法、3ステップメソッド、残留リスク)

1. ねらい

「機械安全エンジニアC」コースは、厚生労働省【安全衛生教育推進要綱】の機械安全に関連する設計技術者に対する機械安全教育カリキュラム(30時間)を完全に満たし、更に設計技術者と品質保証管理者に学んで頂きたい技術を盛り込んだ4日間の講習会(C1,C2,C3,C4)です。

機械を設計するとき、あるいはリスクアセスメントによって同定された危険源のリスクを低減するときは、3ステップメソッドに従いかつ国際規格要求に適合する事が世界的に強く推奨されています。

本講習会は3ステップメソッドによるリスク低減方策、すなわち本質的設計方策、ガード・保護装置・インタロック、付加の保護方策および使用上の情報(残留リスク)を解説する設計技術者に欠かせない講習です。

2. 開催日と場所および定員

- 開催日 2019年10月16日(水) 受付：9時00分より
- 開催場所 ハートピア京都 3階 視聴覚室
京都府立総合社会福祉会館「ハートピア京都」京都市中京区竹屋町通烏丸東入る清水町375番地
- 定員 25名(但し定員に達し次第、締め切ります。)

3. プログラム

時刻		内 容
09:15 ~ 09:20	(5)	オリエンテーション
09:20 ~ 10:30	(70)	<講義-1> 第5章 リスク低減 (P1~P33) 1. 本質的安全設計方策、2. 人間工学とHMI 3. 基本安全原則と十分に吟味された安全原則
10:30 ~ 11:45	(75)	<講義-2> 第5章 リスク低減 (P34~P105) 4. 安全防護及び付加の保護方策 5. ガードによるリスクの低減、安全距離
11:45 ~ 12:35	(50)	昼食・休憩
12:35 ~ 13:15	(40)	<講義-2> 第5章 リスク低減 (P34~P105) 同上
13:15 ~ 13:20	(5)	休憩
13:20 ~ 15:05	(105)	<講義-3> 第5章 リスク低減 (P106~P169) 6. 保護装置とインタロック 7. 基礎制御、PL、カテゴリ、制御システム
15:05 ~ 15:15	(10)	休憩
15:15 ~ 16:30	(75)	<講義-4> 第5章 リスク低減/第6章危険性等の通知 8. 付加の保護方策 (P170~P174) 第6章 機械に関する危険性等の通知 (P1~P13) 1. 使用上の情報 2. 危険性等の通知情報の作成
16:30 ~ 16:35	(5)	休憩
16:35 ~ 17:35	(60)	<演習>
17:35 ~ 18:00	(25)	総合質疑とまとめ

* C1, C2, C3, C4の4講習会の修了者にCコース修了証を発行します。

4. 講師

当会講師

5. 講習会費用

会 員 15,000円(消費税別) 一 般 20,000円(消費税別)

お支払いは銀行振込お願いしています

お問い合わせ 受講申込み	一般社団法人安全技術普及会 〒140-0011 東京都品川区東大井5-4-19 三井第3ビル TEL 03-5769-0775 FAX 03-5769-0776 Email entry@d-sostap.or.jp ホームページ http://www.d-sostap.or.jp/
-----------------	--